



2024年7月23日

各位

会社名 株式会社タムロン
代表者名 代表取締役社長 桜庭 省吾
(コード番号7740 東証プライム)
問合せ先 執行役員経営戦略本部長 野中秀行
(TEL. 048 - 684 - 9111 (代))

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2024年4月26日に公表した2024年12月期第2四半期累計期間の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年12月期第2四半期累計期間連結業績予想の修正 (2024年1月1日～2024年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	41,000	8,400	8,400	6,300	304.27
今回修正予想(B)	44,800	10,800	10,930	8,000	386.37
増減額(B-A)	3,800	2,400	2,530	1,700	—
増減率(%)	9.3	28.6	30.1	27.0	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2023年12月期第2四半期)	32,752	6,477	6,891	5,329	254.99

2. 修正の理由

第2四半期累計期間の連結業績につきましては、各セグメントにおいて販売が計画を上回り、さらに為替の円安影響があったことや、コストダウンや生産性向上の原価低減推進効果等により売上総利益率の向上が図られたこと等により、売上高・利益面ともに計画を大幅に上回る見通しとなりました。

写真関連事業では、昨年来の新製品投入効果やレンズ交換式カメラ市場及び交換レンズ市場の堅調さもあり、自社ブランド及びOEMともに計画を上回る見通しです。監視&FA関連事業では、監視分野でのカメラメーカーの在庫調整長期化の影響もあり上期では減収減益の計画でしたが、注力分野のFA/マシンビジョン用レンズやカメラモジュールが計画を上回って好調に推移し、増収増益となる見通しです。モビリティ&ヘルスケア、その他事業においては、高成長を続ける主力の車載用レンズが引き続き好調に推移し計画を上回る見通しです。

これら全てのセグメントが好調に推移したことから、上期における過去最高売上高・最高利益を大幅に更新し、上期において初の営業利益100億円を達成する見通しとなりました。

なお、通期連結業績予想につきましては、2024年12月期第2四半期決算発表時に見直しを発表する予定であります。

※業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

以上